

Vehicle Cockpit Designer

< 車載デジタルコックピットのコンテンツ制作ツール「VCD」 >

「VCD」システムの操作画面

① プロジェクトブラウザ

ロード中のプロジェクト情報を表示します。同時に複数のプロジェクトをロードし、アクティブなプロジェクトから、別のプロジェクト内のシーンを参照してパーツとして表示することも可能です。

② ノードブラウザ

アクティブなシーンノードの階層を表示します。アクティブシーンが現在の編集対象となりノードブラウザにて選択されたノードが④のノード情報登録/編集画面に表示され編集可能になります。又ノード間の階層はノードブラウザ上でノードをドラッグドロップすることで編集できます。

③ アニメーション表示/編集エリア

各ノードのパラメータ(座標、色、透明度他) 対応するアニメーション情報はマウス操作を介して編集可能な値を数字入力(変更)する際はノード情報表示エリアが切り替わり、表形式にて編集します。

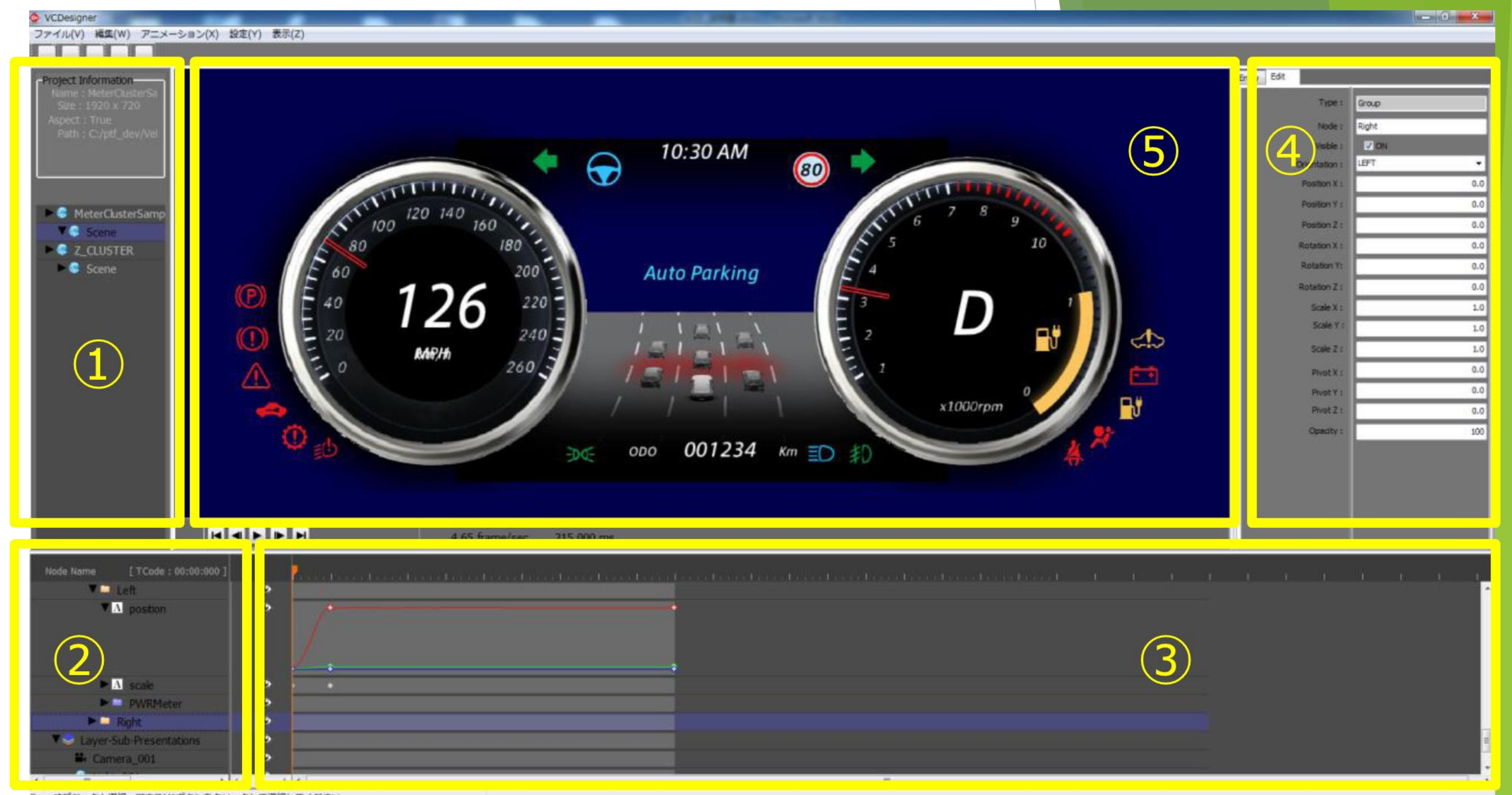
④ ノード情報登録/編集

選択中の各ノード情報の編集を行います。エントリータブに切り替えてノードの追加が行えます。アニメーションノード選択時は表形式で表示編集を行います。

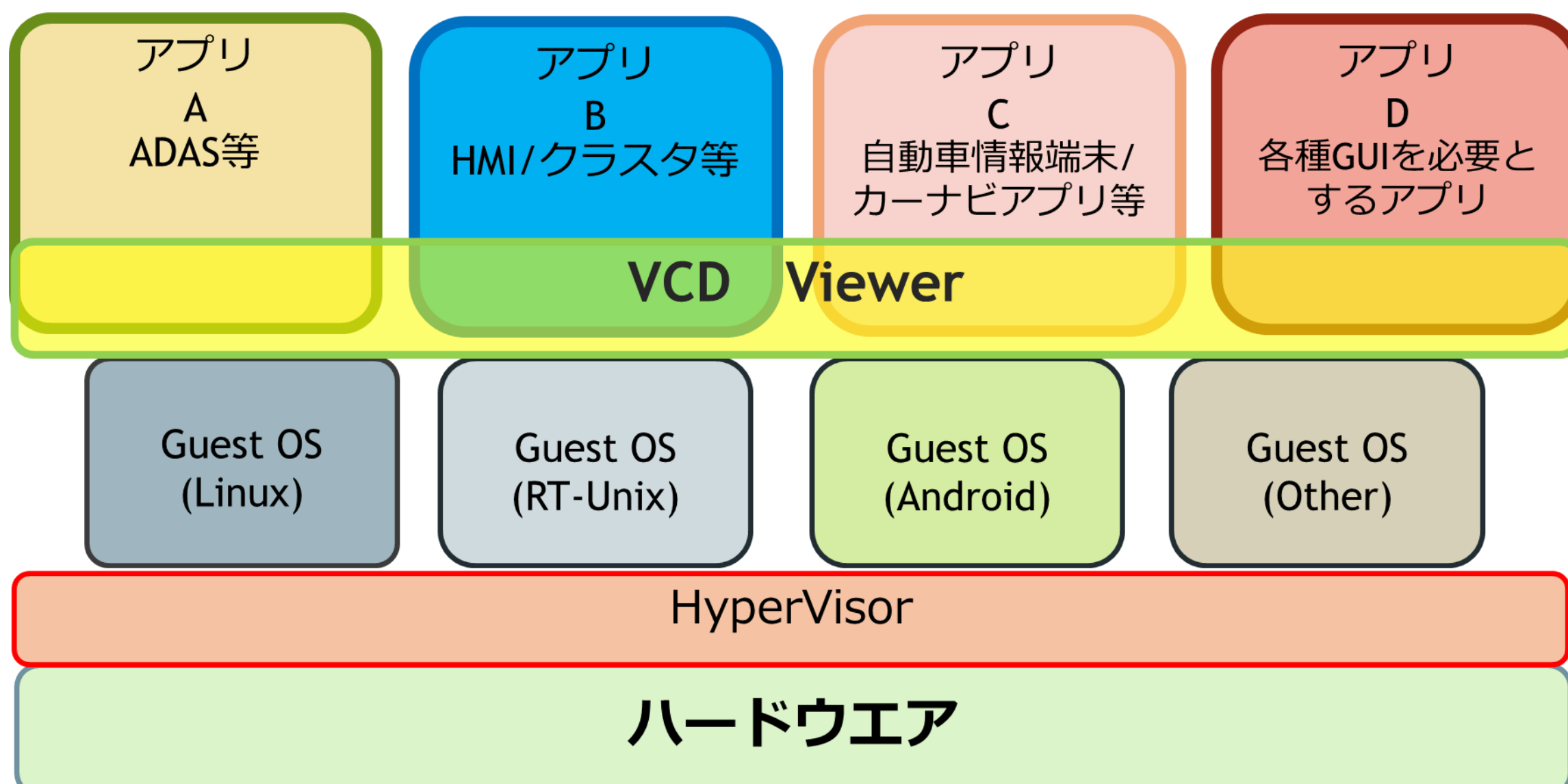
⑤ 表示エリア

結果の表示、アニメーションのプレビューを行います。

アクティブなプロジェクトから参照される別プロジェクト内のシーンも合わせて表示されます。

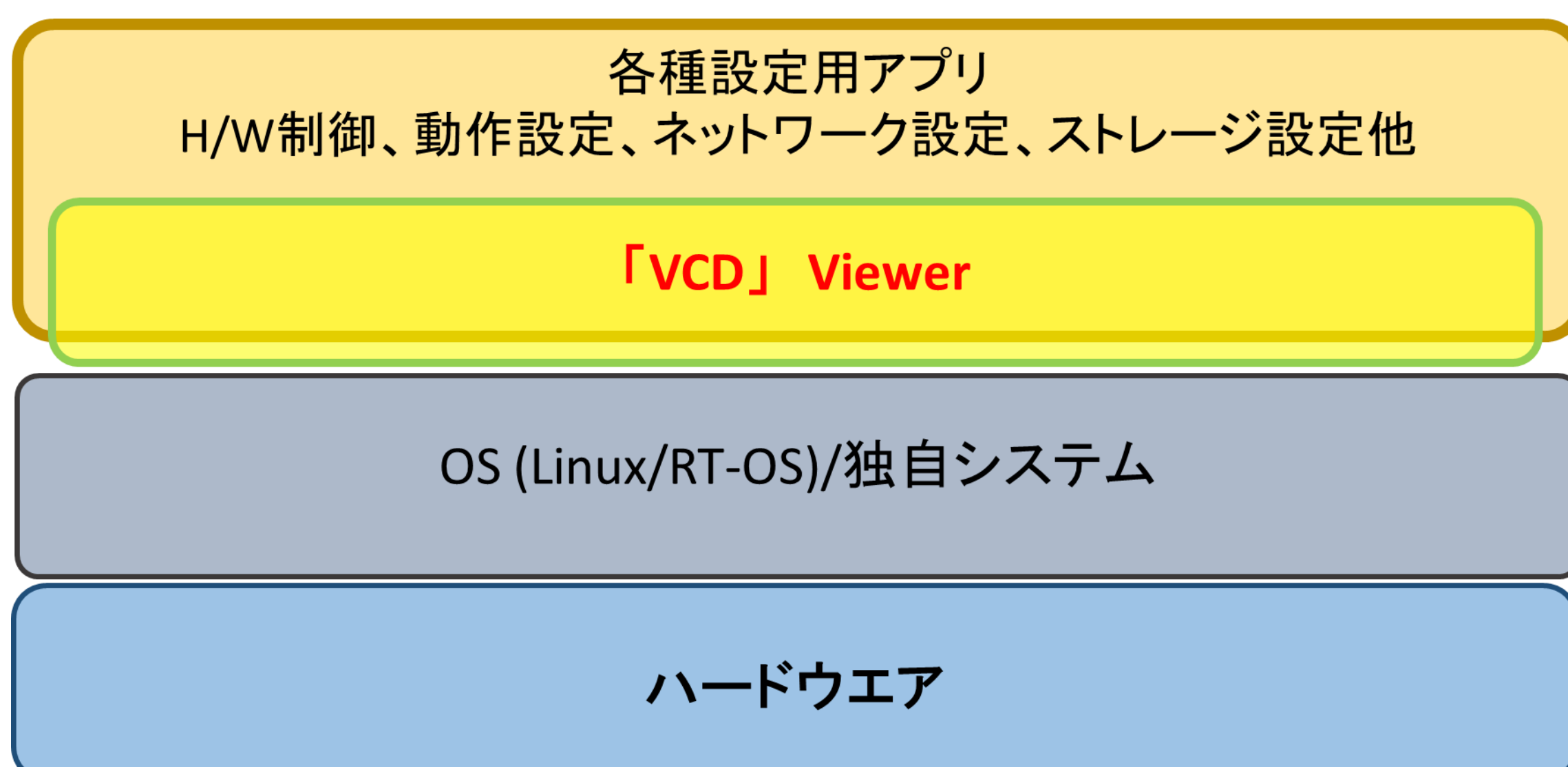


「VCD」システムの応用範囲 (テレマティクス分野)



今後ますます拡大していくテレマティクスの分野で「VCD」システムを活用できるのはデジタルコックピットのコンテンツ制作にとどまりません。ハイパーバイザー上で動く、LinuxやRT-Unix更にはAndroidOSやその他のOSなどにも対応できるため、先進運転システム(ADAS)やHMI関連のアプリケーション開発、自動車情報端末やカーナビアプリなど、幅広いテレマティクス関連機器のコンテンツ制作に活用することができます。

「VCD」システムの応用範囲 (デバイス分野)



「VCD」システムはテレマティクス分野以外にもデバイス分野などでも活用することが可能です。

例えば、プリンターやスキャナーなどの液晶表示部分など、GUIを持たない独自システムの上でH/W制御や動作設定、ネットワーク設定、更にはストレージ設定などのGUIを開発する場合などにも活用できます。

「VCD」システムを活用することで、開発工数の大幅な削減や豊かな表現力のあるGUIの実現を可能にします。